

バリアフリー教室（新千歳空港）実施概要

1. 開催日時：平成30年10月26日（金） 9：00～11：25
2. 会場：新千歳空港国際線旅客ターミナルビル（千歳市美々）
3. 参加者：苫小牧市立植苗小学校3・4年生
新千歳空港関係者等 計24名
4. 主催：国土交通省 北海道運輸局
5. 協力：新千歳空港利用者利便向上協議会
NPO法人 手と手、NPO法人 プリズムさっぽろ
6. 後援：北海道、苫小牧市、苫小牧市教育委員会
7. 実施概要：新千歳空港国際線旅客ターミナルビルを使用して、車いすや視覚障がい者の疑似体験と介助体験を行い、困っている人がいたら自然に声掛けができる「心のバリアフリー」の大切さを学んでいただいた。
体験学習後に空港見学を行い、空港内で働く車を見学し、それぞれの役割について学んでいただいた。



8. アンケート結果より抜粋

- しょうがいのある人のために、いろいろな工夫があるのが分かった。
- しょうがいしゃの大変さや、いろいろなところをみせてもらったから勉強になりました。
- 実際に体験できるということがよかったです。特にアイマスクを使って視覚しょうがいの体験ができて、その人の気持ちや立場がよくわかりました。
- サポートする側の気持ちとされる側の気持ちを両方感じる事が出来たので、今後お客様のサポートをする際には安心して頂けるようにサポートをしていきたいと思います。
- 視覚障がい者車いすの疑似体験で空港を違う目線で見ることによってバリアフリーの重要性を再認識することができました。